

授業展開例（家庭）

1. 学 年 第3学年

2. 単元名 乳幼児の発達と精神衛生（教育図書 『新保育』）*教科書転載なし
 [* 現行の高等学校学習指導要領では、科目「発達と保育」の項目
 「(2)乳幼児の発育・発達」で、この単元の内容が扱われている。]

3. 単元について

本単元は、乳幼児期は人間形成の基礎を培う時期であり、この時期における大人の働きかけや環境とのかかわり方が重要であることを取り扱う。また、乳幼児との触れ合いや交流を図る学習活動を通して、子どもの成長に関心を持ち、かかわろうとする意欲や実際にかかわることができる能力の育成をめざしている。

4. 単元の主たる目標

乳幼児期における養育者との愛着関係の形成が、将来、他者に共感し、思いやる心や望ましい人間関係を築く力を身に付けていく上で重要であることを理解させる。

【普遍的視点】

自尊感情

- ・自尊感情は周りの人から受け入れられたり、大切にされたりすることで、高められることを、ロールプレイや生徒自身の体験を通して気付かせる。

5. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
子どもの健全な発達と環境とのかかわりに関心を持ち、子どもに対しても尊厳を持った人間としてかかわろうとしている。	子どもの人格形成について、現代の社会や家庭の生活を見つめて課題を発見し、その解決をめざし考えている。	保育実習やロールプレイなどを通して、子どもの健全な発達を支援するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	子どもが周りの人から尊重され、自己受容感を持っていることは、よりよい行動をしようという気持ちや他者への思いやりにつながることを理解している。

6. 指導と評価の計画（全7時間）

時	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関心	思考	技能	知識	評 価 規 準	
1	乳幼児の精神発達の特徴 (3時間)					新生児期、乳児期、幼児期の発達の特徴を理解しているか。 乳幼児期の人格形成に及ぼす環境の影響及び人間の行動の基盤となる基本的欲求、適応・不適応などについて理解している。 尊厳を持った人間として、子どもにかかわろうとしている。	観察法 ワークシート
2	心の健康と精神衛生 (4時間) 本時は3時間目					乳幼児期は、母親又は主たる養育者との間に愛着関係が形成されることがその後の発達の上で重要であることを考察し理解できる。 保育実習やロールプレイなどを通して、子どもの発達を支援するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	観察法 ワークシート

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ロールプレイにより、子どもと養育者の両方の気持ちを体験することを通して、幼児期における養育者の態度や役割が重要であることに気付く。
- ・**子どもは、養育者に愛され大切にされることで、自尊感情を形成し、健全な人格形成へとつながっていくことを、自分の体験を通じて具体的に理解する。【自尊感情】**

(2) 観点別評価規準

- ・ロールプレイに進んで取り組み、子どもと養育者の気持ちを擬似体験しようとしているか。
- ・母親又は主たる養育者との間の愛着関係の重要性を、具体的場面に即して考察できるか。

(3) 準備物 ロールプレイ用の人形等、ワークシート

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の規準	評価方法
導入	・本時の学習の目標を知る。			
展開	・ロールプレイを行う。 (グループごとに異なる「親の養育態度」で行う) ・役割を演じることによって子どもと養育者の両方の気持ちを考える。 ・人間の発達段階とその時期における発達課題を知る。	・「親の養育態度」によって子どもの気持ちが違ってくことを意識させる。 「親の養育態度」 ・溺愛型 ・厳格型 ・放任型 ・過保護型 ・幼児期における養育者の態度が子どもの人格形成に大きな意味を持つことを意識させる。 ・特に幼児期における養育者のかかわりは、子どもの性格形成や人間関係づくりに大きな影響を及ぼすことをおさえる。	・他のグループの発表を尊重することができる。() ・役割を演じることによって子どもと養育者の気持ちを考えようとする。(,) ・「親の養育態度」と子どもの人格形成について考えようとする。() ・人格形成の基礎となる乳幼児期においては、養育者によるはたらきかけが重要であることを理解する。()	観察法
	・幼児期の子どもに対する望ましいはたらきかけはどんなものか考える。	・周りの人から受け入れられることによって、自分を発揮できていることをおさえる。 ・周りの人から大切にされることによって、 自尊感情が培われることをおさえる。 子どもにとって、これらがよりよい行動への意欲づけや他者への思いやりにつながることを理解させる。	・周りの人から尊重され 自尊感情を持っていることが、他者への思いやりにつながることを理解する。 () ・子どもの人格形成にとってよりよい環境とは何かを考えている。()	観察法 ワークシート
まとめ	・授業を振り返り、生徒が作成した「思い出絵日記」を読む。	・自分の幼児期を振り返り、この時期の親及び環境とのかかわりの重要性を実感させる。 ・子どもを大切にしながらかかわっていくことの重要性を理解させる。 ・本時の学習内容を整理する。	・子どもを大切にしながらかかわっていくことの 重要性を理解する。 ()	観察法

関心・意欲・態度 () 思考・判断 () 技能・表現 () 知識・理解 ()

8. 評価

- ・ ロールプレイにより，子どもと養育者の両方の立場に立ち，幼児期におけるおとなの態度や役割の重要性に気付いたか。
- ・ **子どもは養育者に愛され大切にされることで，自尊感情を形成し，健全な人格形成へとつながっていくことが理解できたか。【自尊感情】**

9. 指導者から一言

(1) 成果

生徒自身がロールプレイを行い，他のグループの発表を見ることで，今回提示した4パターンの親の養育態度について，図や文章などからの理解よりも一層具体的に理解させることができた。

また，生徒はこれまで子どもとしての視点しか持っていなかったが，親としての視点や周囲にいる幼い子どもとしての視点など，多角的な視点に気付くことができた。このことは，今後，身の回りに起こる様々な出来事を多様な視点から捉えることを可能とするものだと考えられる。

(2) 課題について

幼児の健全な人格の形成には周囲の環境が重要であることは，おおむね理解できたようだ。

しかし，幼児期における自尊感情の形成が，他人への思いやりや望ましい人間関係づくりにつながることへの理解が不十分である。

したがって，今後，理論と体験を有機的に結び付ける教材の開発や指導法についての研究を進めていきたい。

親の養育態度



溺愛型



厳格型

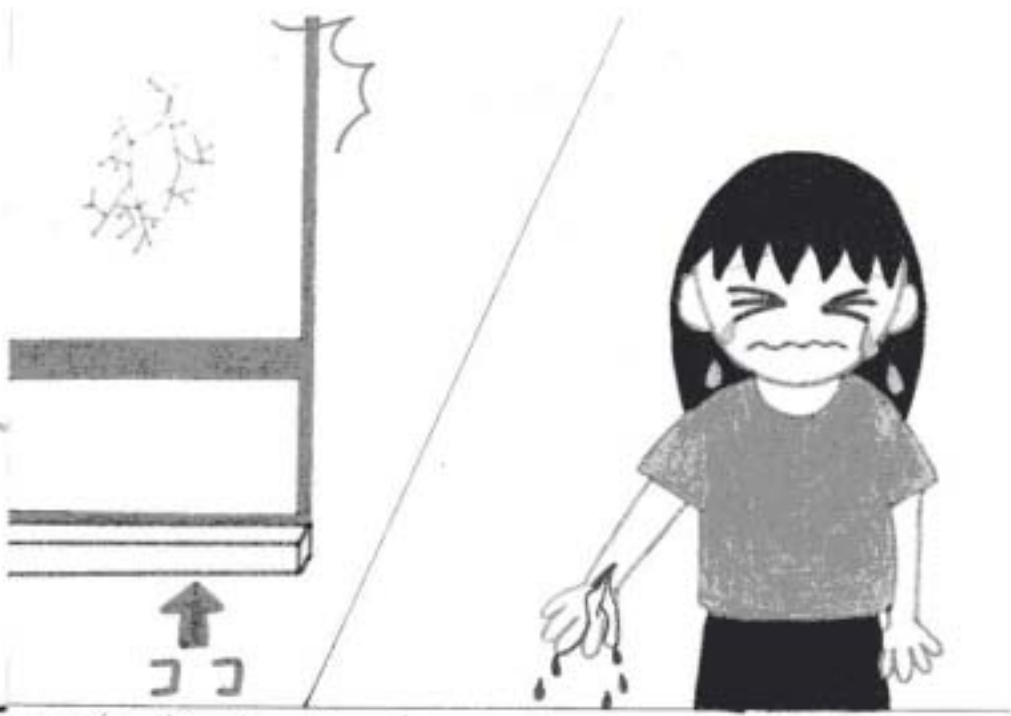
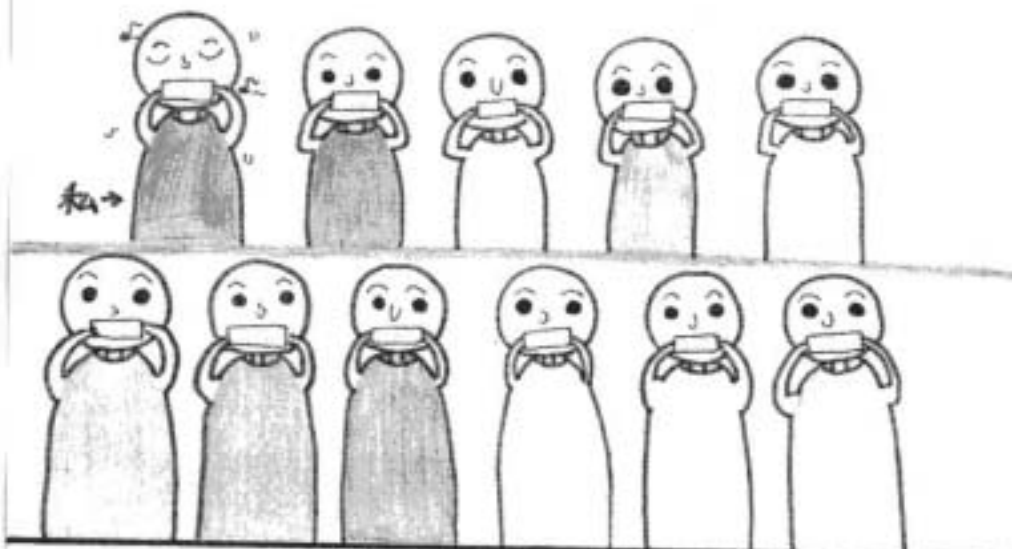


放任型



過保護型

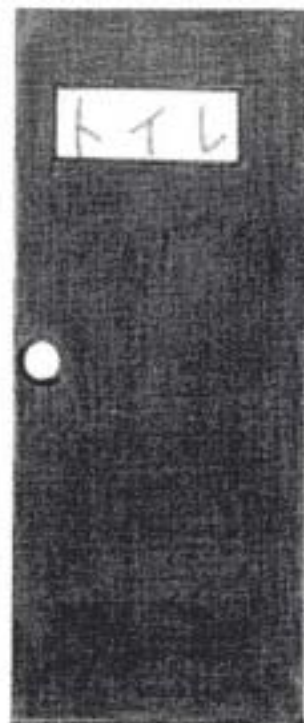
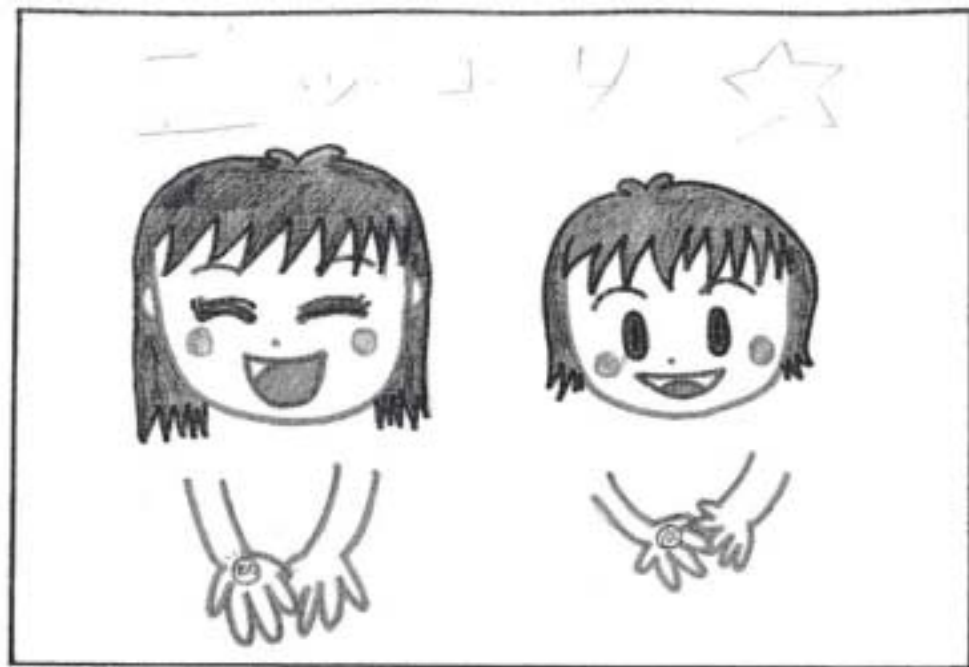
はっぴょうかい



わたし しょうがく いちねん はっぴょうかい
 私が小学一年の発表会の
 とき ハーモニカの発表で、私は全
 体 ハーモニカ吹けんかったんよ。で
 も、いかにもハーモニカ得意ですて
 感じて、適当に吹いたんよ。でも、終
 わった後、お母さんに怒られたんよ。
 演技バレバレ。。。

私が小学生だった時、いっこの
 男の子と家までかけっこをしました。
 私はドジなうで、段につまづいて、ガラ
 スに突っ込みました。
 すると、右の手首がパツワリと切れ
 て血がいっぱい出てきました。
 それを見たお母さんは何を思ったの
 か、病院ではなく、急いで薬局に行っ
 て消毒とけいさつを買って来ました。
 今、考えろと「あせたんかな」と思います。
 後から傷を見ると、血管ギリギリを
 切っていました。あー危なかつた!!

○月△日 夕方

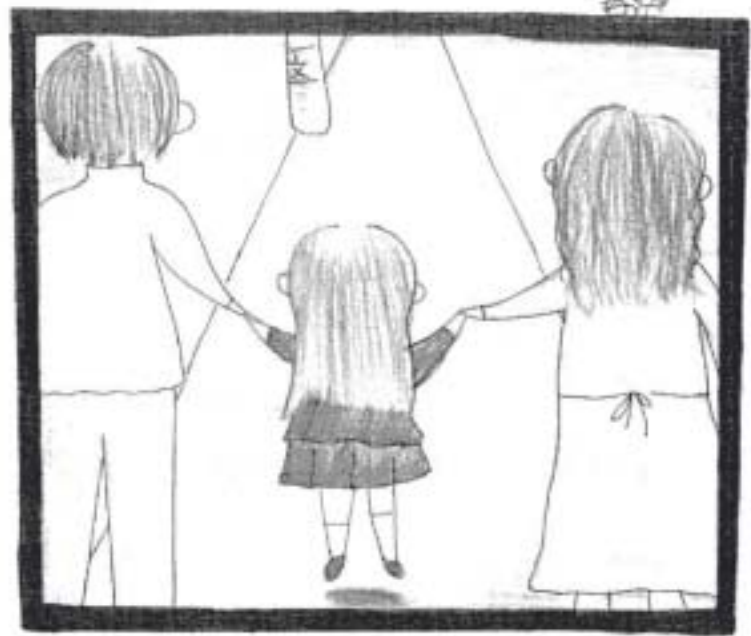


私のおじいちゃんは週に2回
 バイクで遊びに来ます。いつも
 片手にはおみやげを持って
 来てくれるおじいちゃんが
 大好きです。そして、帰る時は
 必ず私と妹に百円ずつくれ
 私達は大喜びでした😊
 今でもよく遊びに来たく
 れますが、今ではいいわ
 りがかり言ってきた。いつのま
 か、あの楽しかった百円も...
 でもおじいちゃん大好きです。

×月□日 晴れ？
 私がまだ小さかった頃、
 お母さんが出産のため
 入院して、長い間、家に
 いなかったの、お母さんが
 帰って来たら、私は、お母
 さんが行く所全てについて行
 っていました。
 たぶん、またいなくなると
 思ったんだと思います。



蜂に刺された事件簿？
 私が若干5才の時、蜂
 をにぎったら刺され
 たんよ。すごい腫れ
 て、父さんが焦って病
 院連れてってくれた
 んよ。親子の愛を
 感じたんよ。おわり



2 才の頃、アパートに住んでいた。

店からアパートまでの道ほとと暗かったが...

お父さんとお母さんに手をつたいてもらって帰っていた。

ら、怖くなってお母さんが。お父さん、お母さん。

ありがとう。